

2025年

4/1 (火)

発売開始!



森の京都

お城の専門家
加藤理文先生とたどる森の京都
24のお城ガイド

| 解説文 | 動画 | ドローン映像 | で詳しく解説

謎があるから面白い! 森の京都24のお城ガイドシリーズ

お城の専門家・加藤理文先生とたどる
明智光秀が造った2つの城と謎

〜明智光秀はなぜ同時にタイプの違う2つの城を築いたのか? 城の違いや謎を遡る〜

<森の京都24のお城ガイドシリーズとは?>

まるでお城の専門家と一緒に攻城めぐりをしているような体験ができるガイドブック。現在まだ解き明かされていない「お城の謎」の存在を知り、自分なりに考えるきっかけになる内容。二次元バーコードをスマートフォンで読み込めば、加藤先生が現地でもどころを解説する動画を見ることができます!
用意するもの: スマートフォン、イヤホン

Attendant: 加藤理文

公益財団法人日本城郭協会理事、NPO法人城郭遺産による街づくり協議会監事、(財)静岡県埋蔵文化財調査研究所、静岡県教育委員会文化課を経て、袋井市立浅羽中学校教諭を2024年退任。全国の城を語り、特に織豊系城郭を専門に研究。わかりやすい解説で人気。著書多数。



△富士山時代の周山城跡(現定西宮イースト・レイアウト) 築(元)氏太郎 監修=城郭研究(初出「歴史群像159号」)



△周知山城

明智光秀と丹波地方

丹波は、古くから多くの国人領主(くじんりょうしゅ)が各地に勢力を持っていたため、統一するのが難しい地域でした。そこで明智光秀は足掛かりとなる拠点の城を築き、さらに丹波平定後も視野に入れて複数の城を築いたのです。

まずは丹波攻略の拠点として周山城(周知市)を築き、都へ入る丹波口を押さえました。丹波平定後、この城を一国支配の拠点とするため、青銅(土木工事)は脱けられ、「惣堀普請(そうぼりふしん)」との記録もあるため、大規模な堀に囲まれた城下町を作ったことが解ります。

続いて、丹波の北東地域を押さえるために周山城を、北西地域を押さえるために福知山城を、南西地域を押さえるために黒井城を築いたのです。

4城の内、周山城と福知山城が平山城で、明治維新まで存続しました。山城の周山城と黒井城は、江戸時代の前には廃城となっています。



シリーズ第1弾

明智光秀が造った
2つの城と謎しゅうざんじょう
周山城ふくちやまじょう
福知山城

主君織田信長から丹波平定を命じられた明智光秀が丹波の東と西の端に築いたお城「周山城」「福知山城」。なぜ、周山城は高い山の上に総石垣で築かれたのか? なぜ、福知山城は明治まで残り、周山城はわずか5年で廃城になったのか? など、明智光秀が同時期にタイプの違う2つのお城を築いた謎に迫ります。

解説 城郭研究家 加藤 理文先生

<講師>
日本城郭協会理事
加藤理文先生

1958年生 静岡県浜松市(旧磐田郡水窪町)出身

駒澤大学文学部歴史学科卒業 /

博士(文学)NPO法人城郭遺産による街づくり協議会監事、

(財)静岡県埋蔵文化財調査研究所、

静岡県教育委員会文化課、袋井市立浅羽中学校教諭(2024年退任)

主な著書「織田信長の城」(講談社現代新書 2016年)

「静岡県の歩ける城70選」(静岡新聞社 2016年)

「よくわかる日本の城」日本城郭検定公式参考書(学研プラス 2017年)

「戦国の山城を極める」(学研プラス 2019年)

「家康と家臣団の城」(KADOKAWA 2021年)ほか多数

24の
お城ガイドA4サイズ
24ページ/フルカラー
¥1,000(税込)森の京都
24のお城ガイドシリーズとは

まるでお城の専門家と一緒に攻城めぐりをしているような体験ができるガイドブック。現在まだ解き明かされていない「お城の謎」の存在を知り、自分なりに考えるきっかけになる内容。二次元バーコードをスマートフォンで読み込めば、加藤先生が現地でもどころを解説する動画を見ることができます!

ご用意していただくもの スマートフォン、イヤホン

販売箇所

「お城ガイド」は下記の販売店でお買い求めいただけます。

福知山観光協会

京都府福知山市駅前町439

TEL.0773-22-2228

道の駅ウッディー京北

京都府京都市右京区京北
周山町上寺田1-1

TEL.075-852-1700